

シター

～板橋区コミュニティ・スクールは学校と子どもの応援団～

発行元:教育委員会事務局 地域教育力推進課 地域連携係 TEL3579-2619

なぜ板橋区コミュニティ・スクールを導入するの？

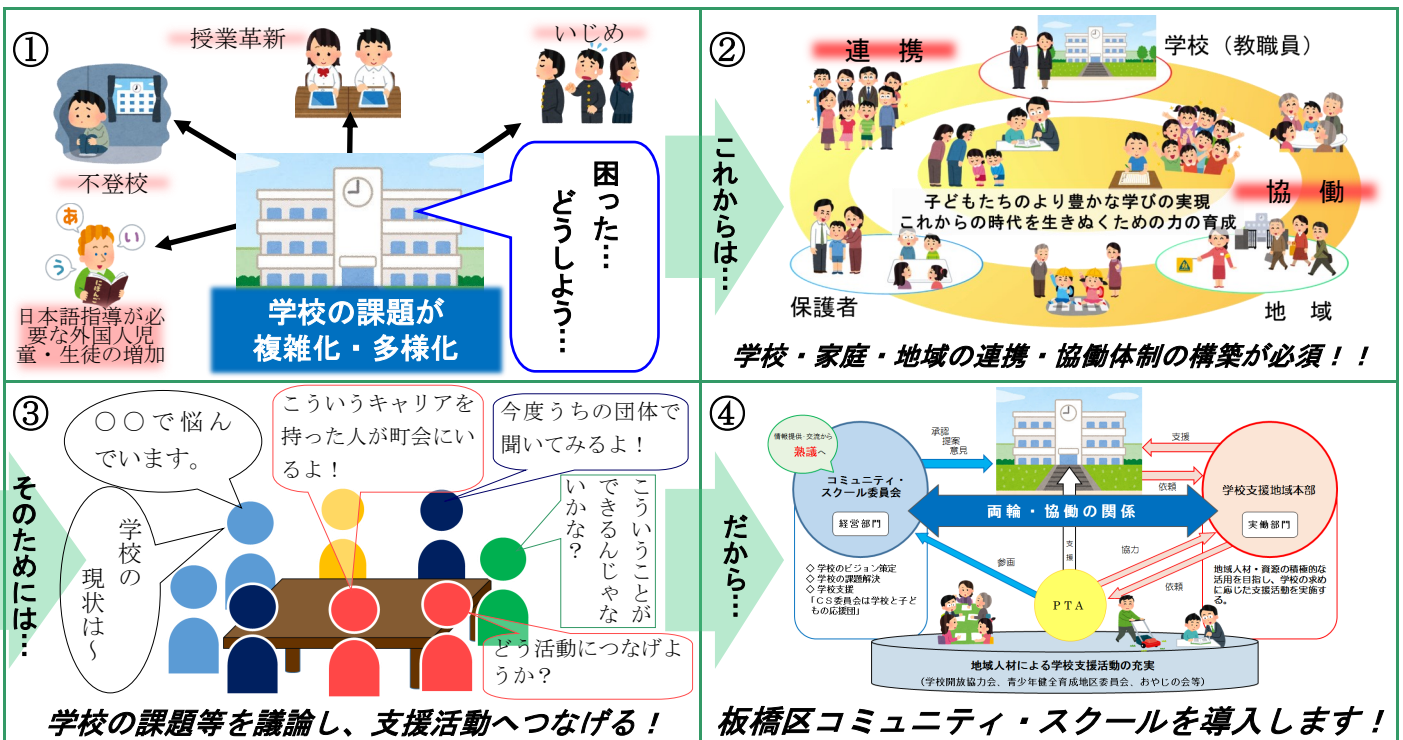


近年の学校を取り巻く環境は、不登校児童・生徒の増加や、日本語指導が必要な外国人児童・生徒数の増加等、学校や教員に課題があるというよりも、家庭や地域、社会を含めて、複雑化・多様化している状況にあります。その他にも、学習指導要領の改訂により、今までの受け身的な学びから、主体的・対話的に学ぶ学習へ移行する等、学校を取り巻く環境が日々変化しています。

そのような状況の中において、従来のように「学校だけで全ての課題を解決していく」ということは、もはや困難な状況になっており、子どもたちの学びを充実させるには、学校と保護者・地域の連携・協働は必要不可欠なものとなっています。

学校・家庭・地域が連携・協働の体制を構築するためには、学校が学校の現実（良い部分だけでなく悪い部分も含めて）をオープンにし、保護者や地域に知恵や力を貸していただき、学校の課題に対して民主的に議論し合い、支援活動へつなげるという方向へシフトチェンジしていく必要があります。その議論し合う場として、「コミュニティ・スクール委員会」を設置し、学校支援地域本部や、PTA組織・おやじの会といった学校を支援している団体とともに、実際の支援活動に結び付けるため、「板橋区コミュニティ・スクール」を導入します。

要するに…



板橋区コミュニティ・スクールを導入します！



～6月のコミュニティ・スクール推進委員会の様子～

6月に行われたコミュニティ・スクール推進委員会の内、今回は「志村第二小学校」「若木小学校&中台中学校」の会議の様子について、ご紹介します！

志村第二小学校

○開催日：令和元年6月15日（土）

志村第二小学校では、土曜授業プランに合わせて、CS推進委員会を開催しました。

授業中ということもあり、まずは委員が授業を見学し、その後に推進委員会が開かれました。



学校経営方針の説明では、校長先生から、「『子どもたちの安心・安全』『教員の働き方改革（教員の健康等）』があつてこそ学力向上が図られる」という校長先生の熱い思いを委員へ説明しました。また、委員からは、「今後4～5年で児童が100名以上増える可能性があることから、どのように対応していくのかについても検討すべき！」というような提案がなされるなど、今後推進委員会にて話し合うべき課題について議論されました。

若木小学校・中台中学校

○開催日：令和元年6月14日（金）

若木小学校と中台中学校では、CS推進委員会を合同で開催しました。始めに、若木小学校の学校経営方針、続いて中台中学校の学校経営方針を委員へ説明した後、「小中一貫教育」「地域連携・地域人材活用」についての熟議を行いました。委員からは、「中学校の教員が英語や理科の授業を小学校で行うのはどうか」「学校公開の際に校長が授業を行い、保護者や先生に観てもらうのはどうか」という積極的な意見が出されました。一方で、「教職員の中でも、小中一貫教育についての理解に差がある」「学校からの情報がまだ少ないので、何を必要としているかが分からない」というような、厳しい意見も出る等、委員の皆さんが当事者意識を持ち、本音で語っていました！



学校支援地域本部シンポジウム2019

「本気熟議！～子どもたちの豊かな学びを実現するための提案～」を開催します！

教職員や地域の方、保護者、地域コーディネーター等を対象に、学校支援地域本部事業についての理解を深めたり、コミュニティ・スクール推進委員会で行われる熟議等を実際に体験したりすることで、令和2年度に導入する「板橋区コミュニティ・スクール」についての理解を深め、本格導入に向けた機運醸成を図ります。また、シンポジウムを通じて、地域の方々等が互いのつながりを強めることで、地域コミュニティの活性化につなげることを目的に開催しますので、ぜひご来場ください。

○と き：令和元年8月22日（木） 13：30～16：30

○ところ：区立文化会館 大会議室【板橋区大山東町51-1】